

阿武隈川上流遊水地群整備 (住民説明会)

阿武隈川緊急治水対策プロジェクトに関する住民説明会

令和5年1月～2月
東北地方整備局
福島河川国道事務所

= 説明項目 =

1. 説明会の進め方

2. 事業工程の振り返り

3. 各種検討状況の報告

①事業範囲の見直し

②付替道路(県道矢吹小野線、町道成田・玉川線及び村道松ヶ作神ノ前線、県道須賀川矢吹線)

③支川処理(鈴川、泉郷川、阿由里川)

④内水検討の状況

⑤代替地の調整状況

⑥土地利活用に向けた検討状況

⑦前田川堰の影響分析

4. 意見交換

2. 概略工程(概ね10年間の予定)

前回
説明会資料(再掲)

■阿武隈川緊急治水対策プロジェクトに基づき、概ね10年間で治水対策を実施

阿武隈川緊急治水対策プロジェクト(上流遊水地群整備) 概略工程

概略工程		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
測量	・遊水地範囲検討	→								
事業計画の検討	・計画規模	→								
調査	・地質調査など		→							
設計	・遊水地関係施設		→							
用地調査	・測量 ・土地価格の算定		→							
用地協議	・用地協議、補償			→						
工事					→					

注) 本計画は新年度予算が成立していることを前提としています。
上記プロジェクト工程については、予算の配分や今後の調査状況により変更する可能性もあります。

2. 令和3年度、令和4年度、令和5年度の調査等項目

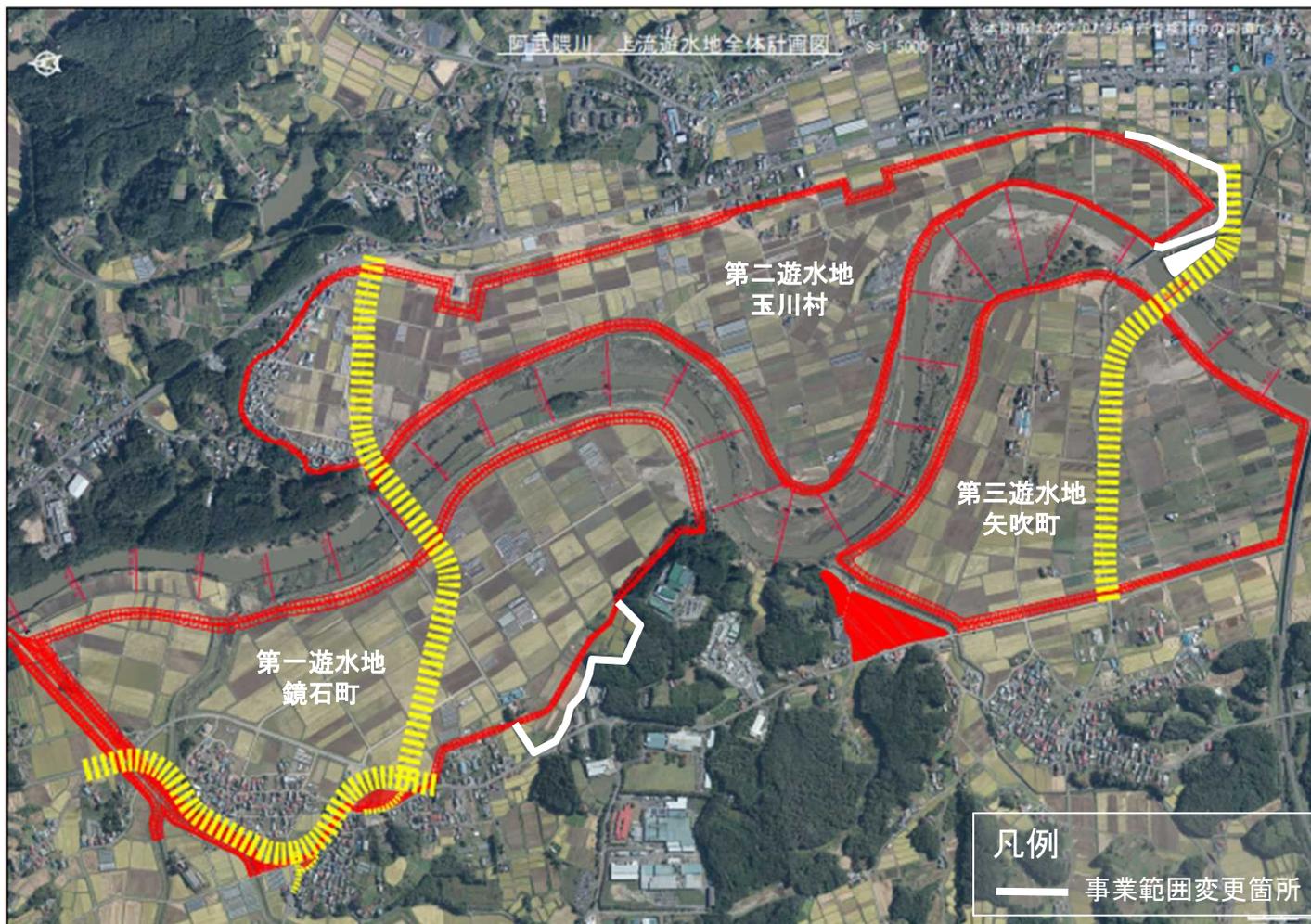
○用地調査・協議、各種調査等を以下の工程で実施予定

主な調査項目	年度 月	令和3年度					令和4年度					令和5年度					概要																	
		10	11	12	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	01	02	03		
事業計画の説明や意向把握		随時		説明会			説明会			随時		説明会			説明会(随時)																			
用地関係	主に農地	9月下旬より 用地調査開始		確認会			用地説明会			10月より 用地協議開始																								
	主に宅地										10月下旬より 用地調査開始		確認会			令和5年夏頃より 用地協議開始																		
地下水位観測		令和3年 9月下旬より調査開始										必要に応じ観測を継続																						
環境調査観測 (動植物、騒音・振動等)		令和3年 9月下旬より調査開始																R5以降も 継続実施																
埋蔵文化財関係調査 (福島県による現地確認等)		農地部の確認調査													用地協議(農地)が完了した箇所から試掘調査を実施						R3~R4 包蔵地確認調査													
												宅地部の確認調査			用地協議(宅地)が完了した箇所から試掘調査を実施						R4以降 試掘調査 試掘調査結果を踏まえて、本調査範囲の確定													
工事																	用地協議が完了し、施工が可能となった箇所から順次着手																	

注) 上記プロジェクト工程については、今後の調査状況により変更する可能性があります。

3-①. 事業範囲の見直し

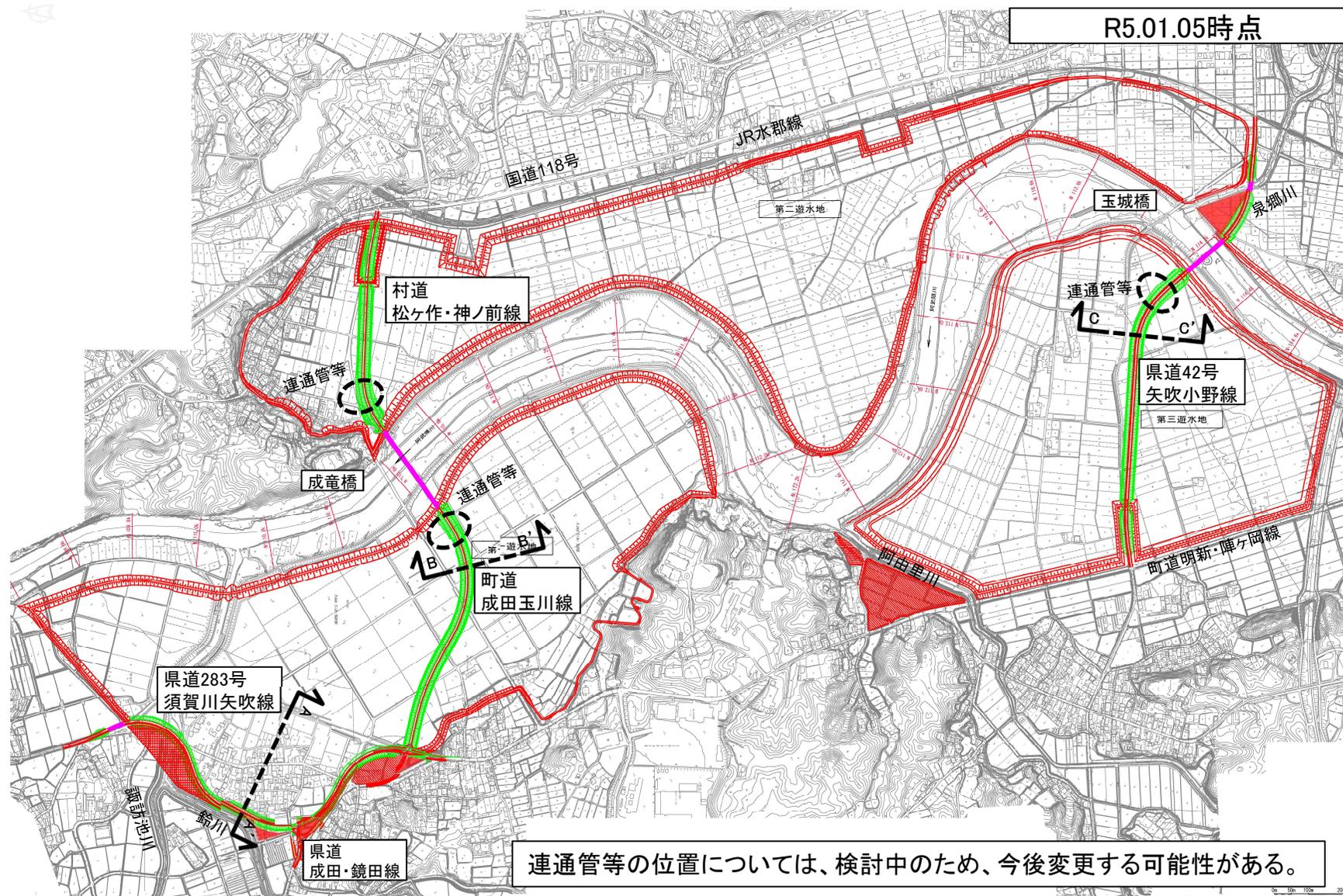
○付替道路や支川、周囲堤整備による取付道路などの整備との調整により、2箇所において、事業範囲に変更が生じる。



R4. 7月～8月の住民説明会で提示している図面に変更箇所を記載。

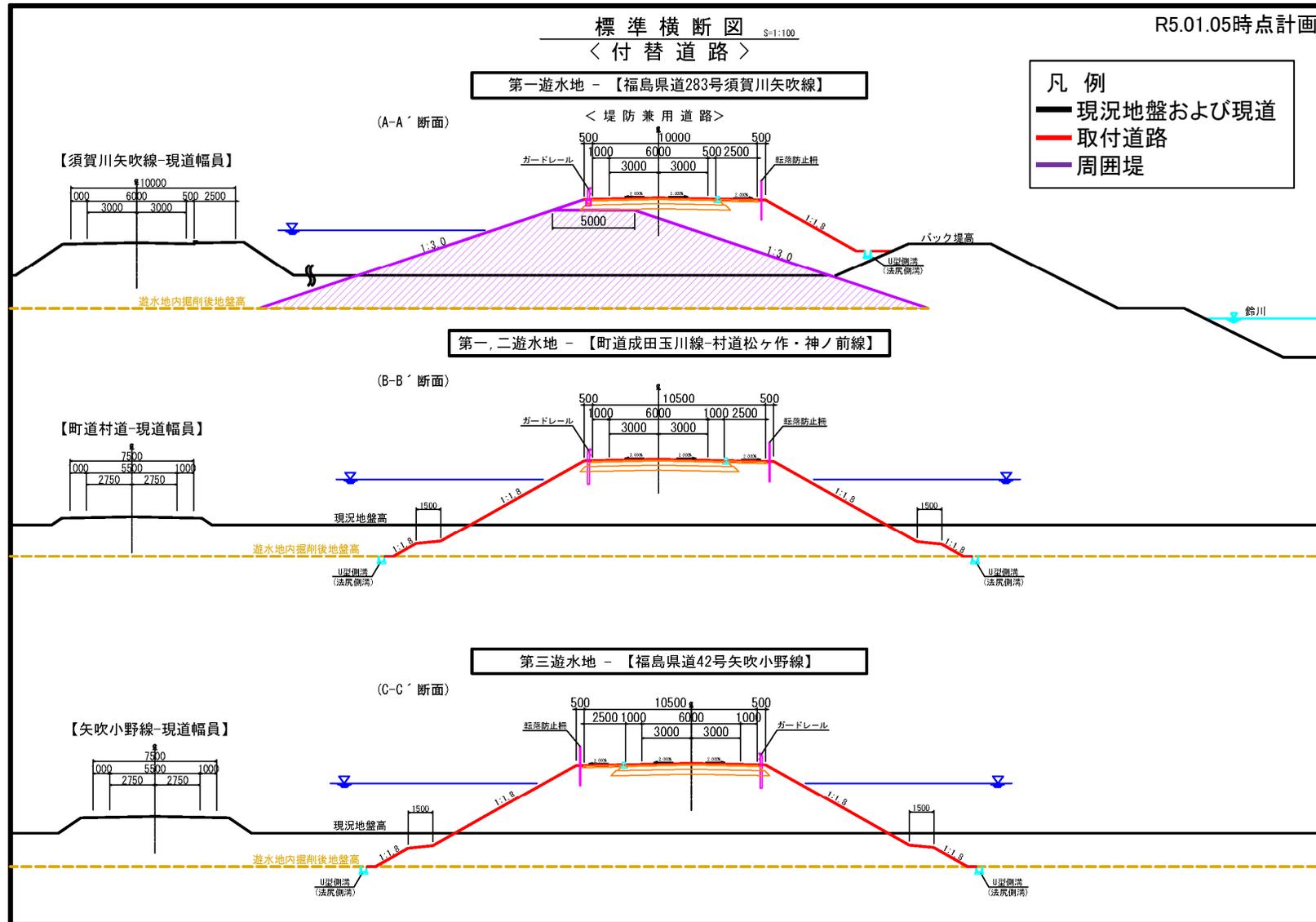
3-②. 付替道路(ルート)について

- 道路管理者との協議によりルートを**決定**。
- 周囲堤整備に伴って分断される道路については今後、検討。



3-②. 付替道路(幅員)について

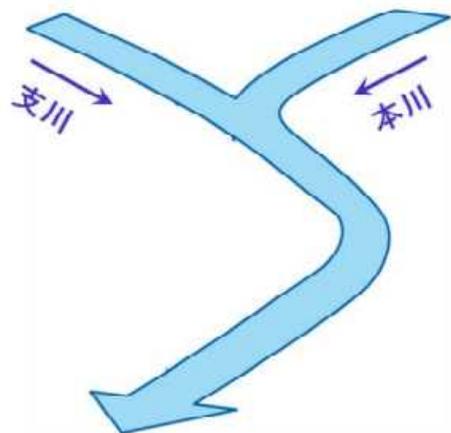
- 道路の高さについては、遊水地に水が貯まっても水没しない高さで設計
- 幅員については、構造基準を満足する規格として、歩道幅員2.5mを確保。



3-③. 支川処理について

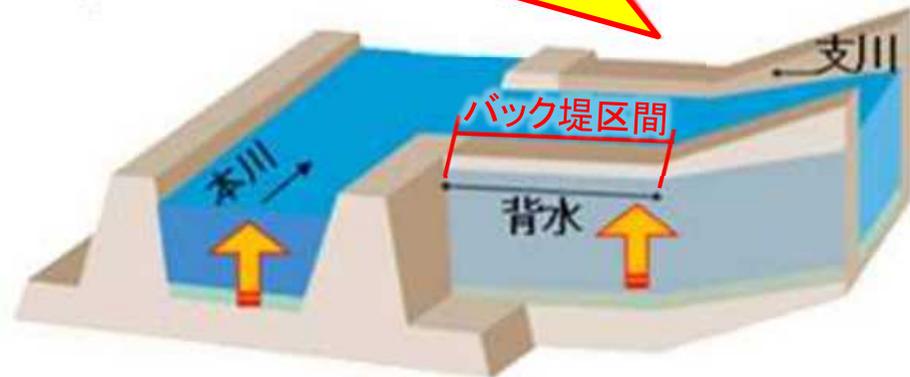
○本川(阿武隈川)のバックウォーターに対する氾濫防止対策(堤防の嵩上げを基本に整備)

・バックウォーター現象



本川の影響で
水位上昇が発生

本川と支川の水位が高い時間が重なって、支川の洪水が流れにくくなる

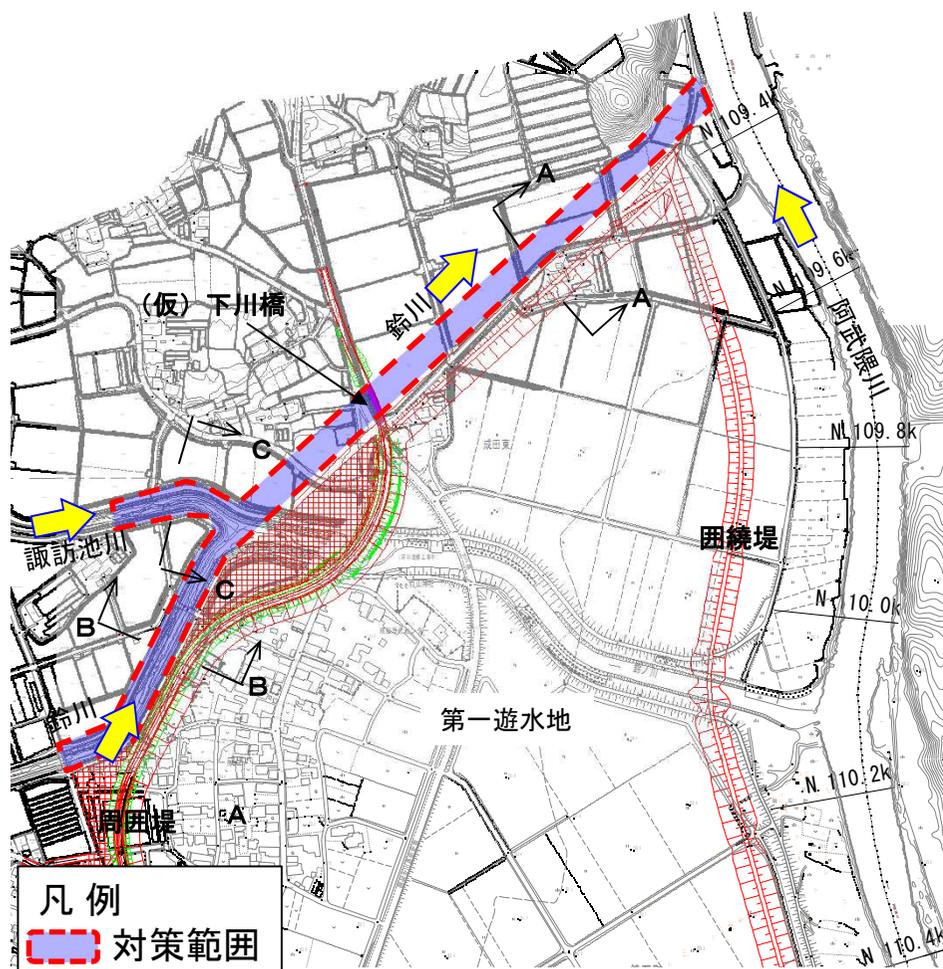


背水区間までの堤防を整備

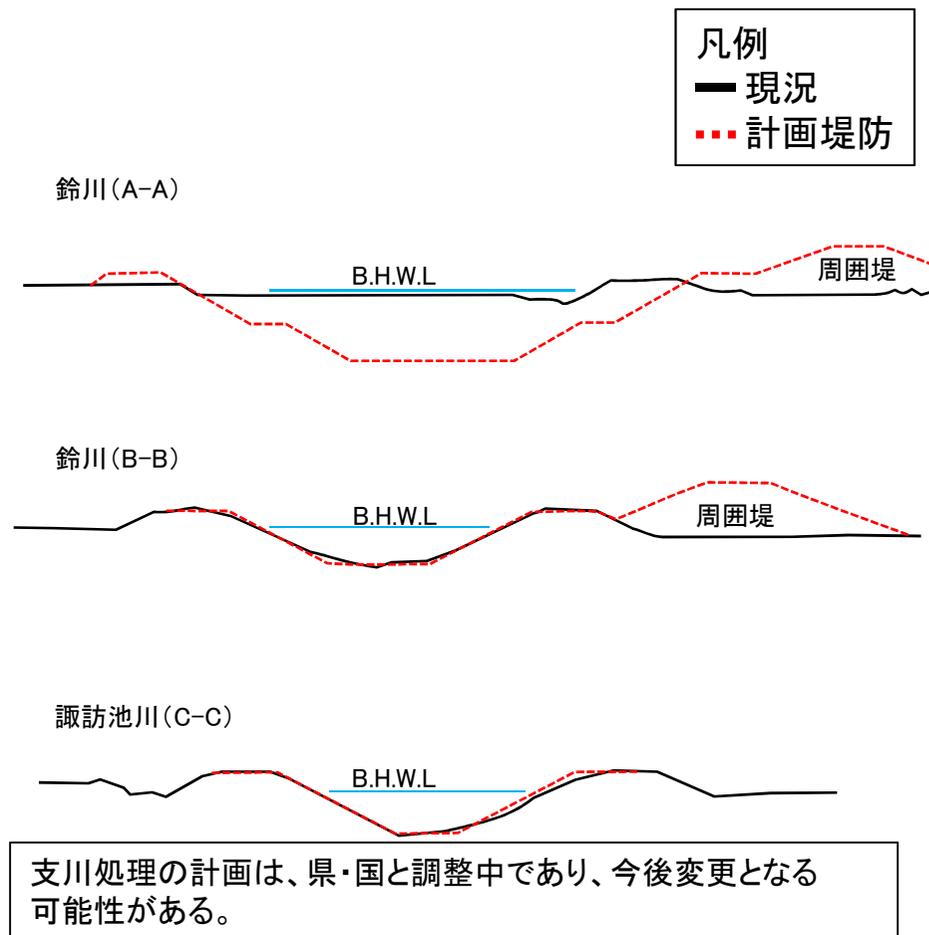
3-③. 支川処理(第一遊水地:鈴川)について

○本川の水位上昇に伴う越水を回避するため、遊水地と一体的に堤防等を整備。

平面図(イメージ)



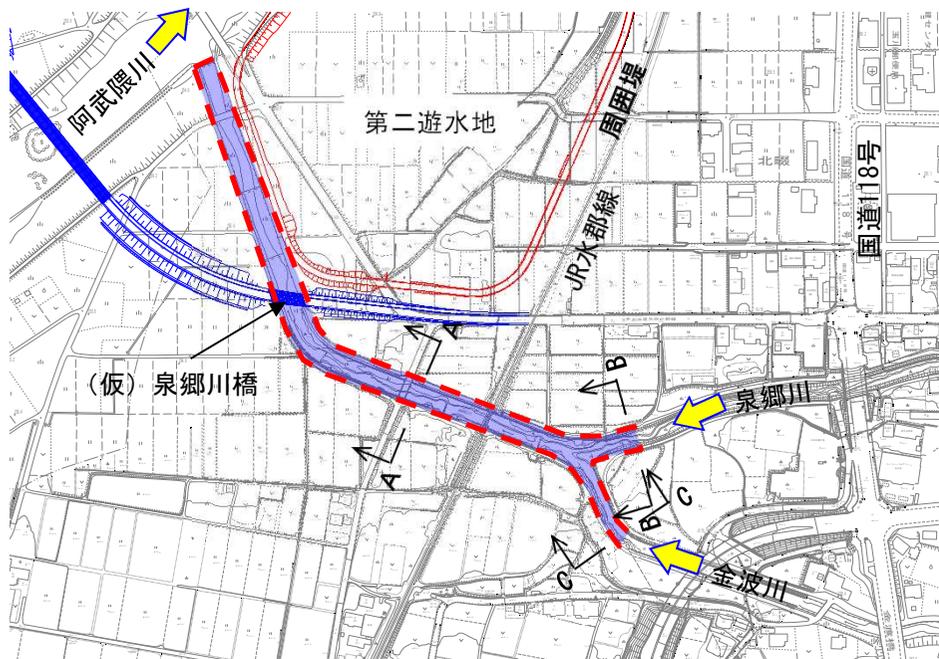
断面図(イメージ)



3-③. 支川処理(第二遊水地:泉郷川)について

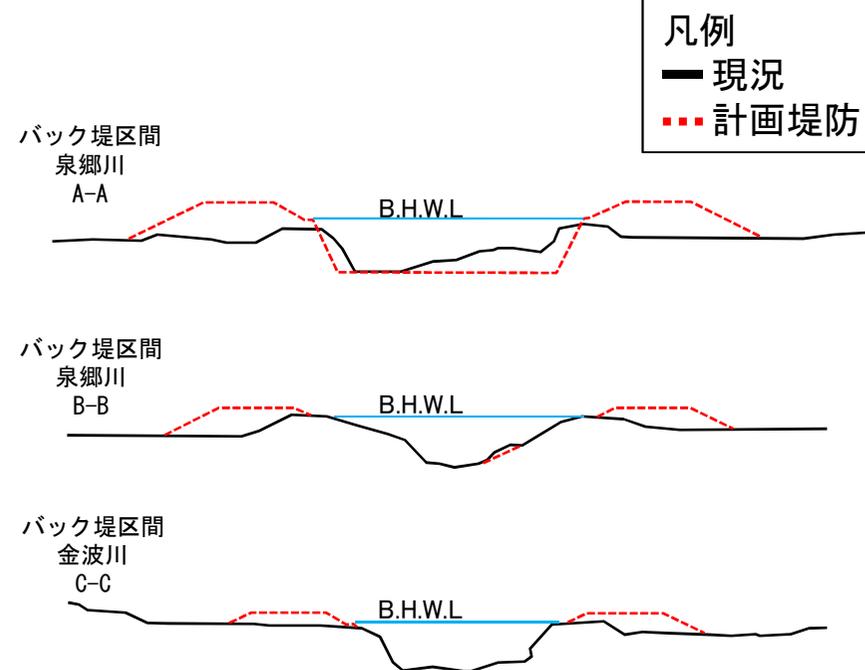
○本川の水位上昇に伴う越水を回避するため、遊水地と一体的に堤防等を整備。

平面図(イメージ)



凡例
[Red dashed line] 対策範囲

断面図(イメージ)



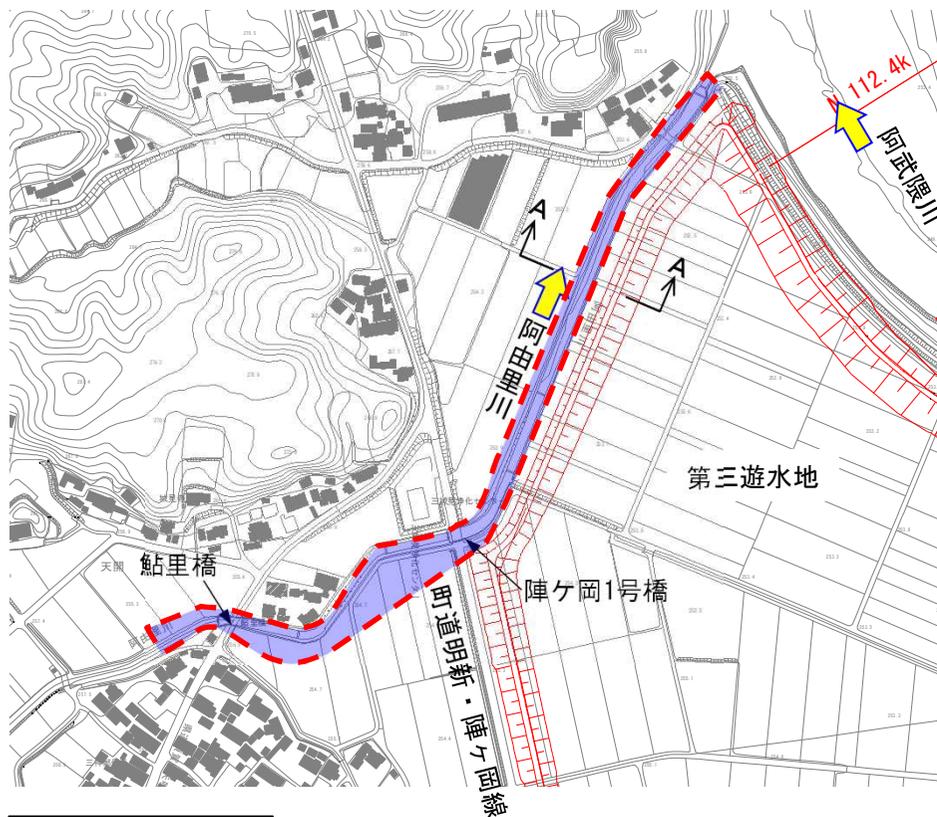
凡例
— 現況
- - - 計画堤防

支川処理の計画は、県・国と調整中であり、今後変更となる可能性がある。

3-③. 支川処理(第三遊水地:阿由里川)について

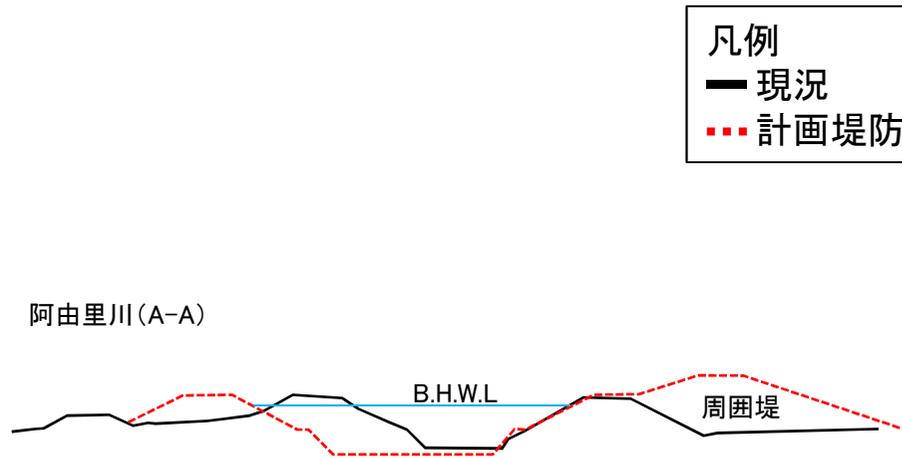
○本川の水位上昇に伴う越水を回避するため、遊水地と一体的に堤防等を整備。

平面図(イメージ)



凡例
[Red dashed box] 対策範囲

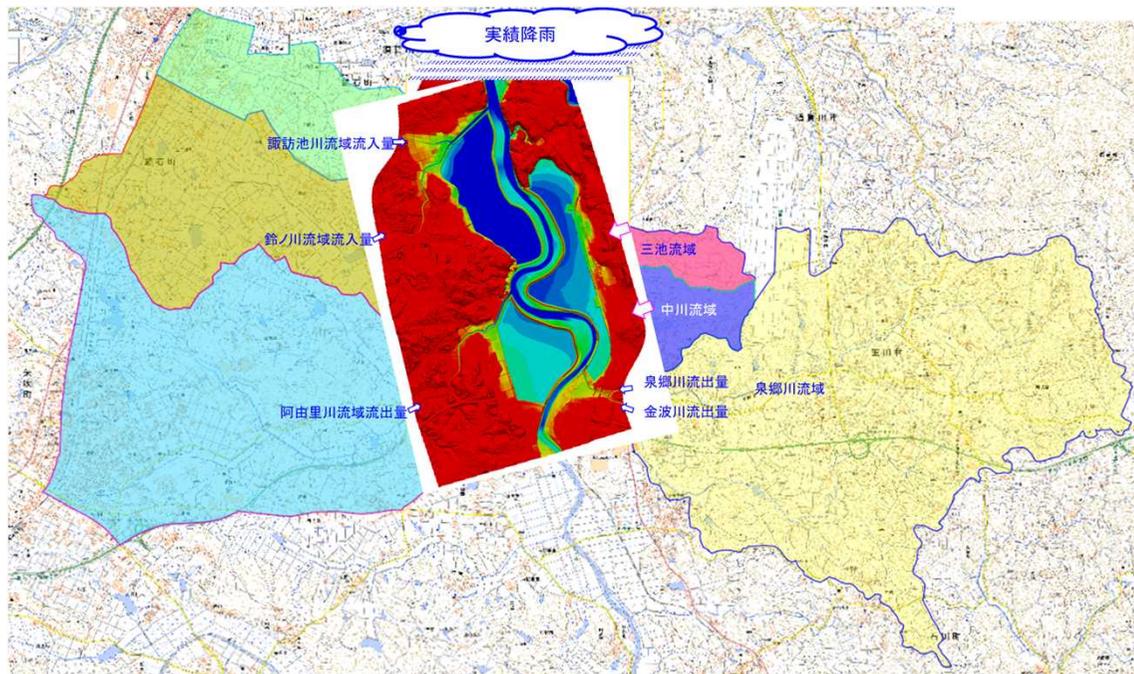
断面図(イメージ)



支川処理の計画は、町・県・国と調整中であり、今後変更となる可能性がある。

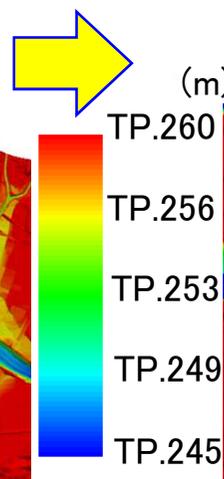
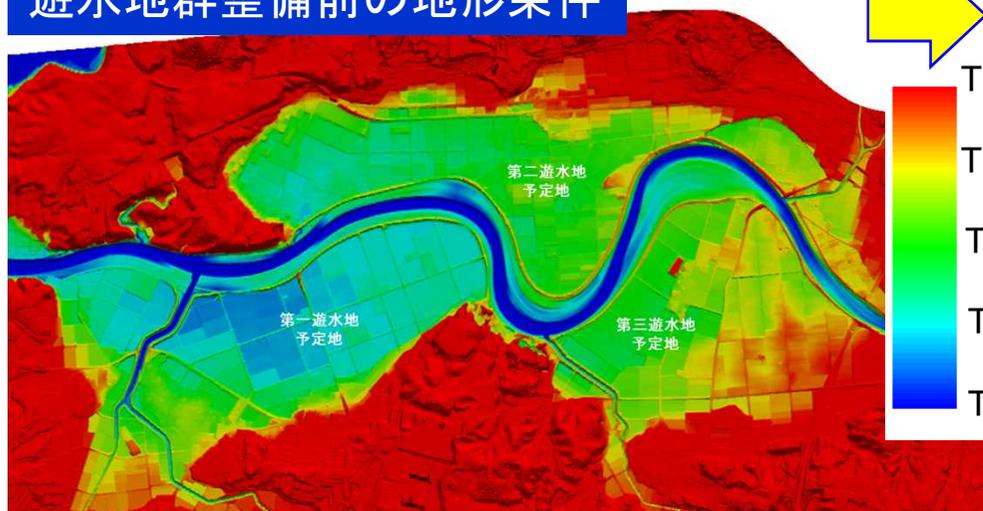
3-④. 内水検討の状況

○流入する流域を設定、遊水地整備前後の地形条件をモデル化して検討を実施。

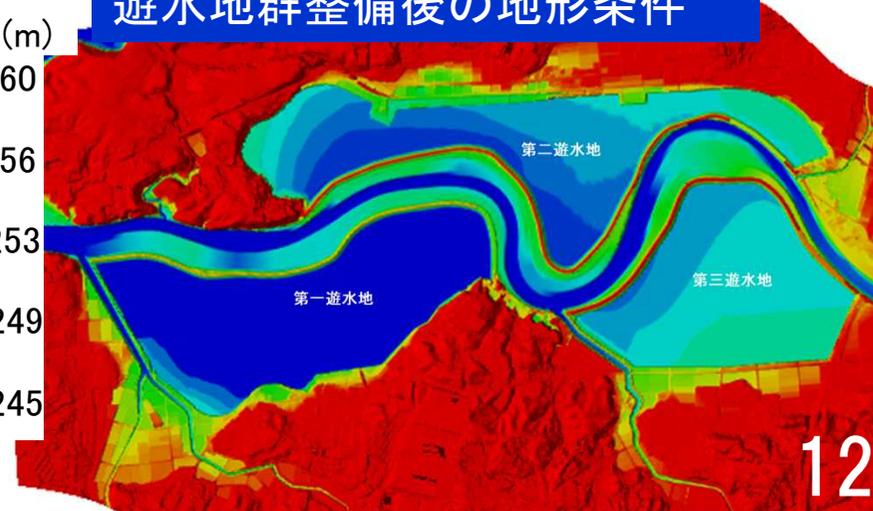


- 【設定条件】
- ・周囲堤を整備
 - ・地下水位を踏まえた遊水地内の掘削を実施

遊水地群整備前の地形条件



遊水地群整備後の地形条件

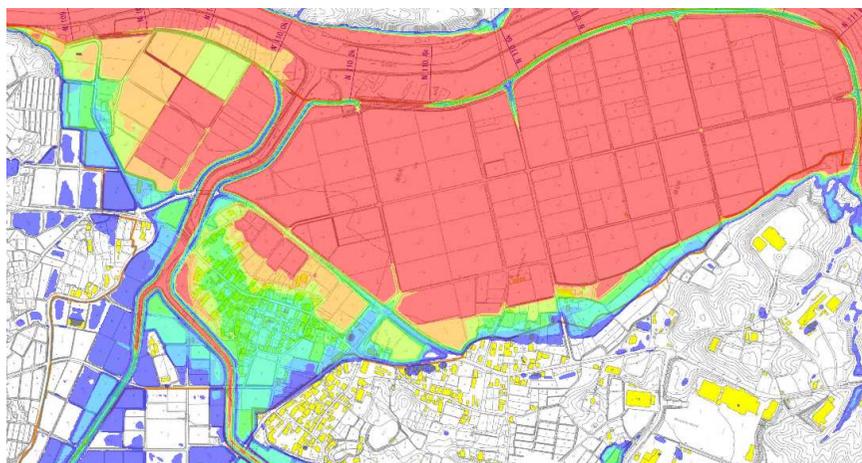


3-④. 内水検討について

○令和元年東日本台風による降雨が発生した場合の浸水範囲(内水)について、施設整備前(現況)と第一遊水地(鏡石町)を整備後で比較した内水計算結果は以下のとおり。

- ・シミュレーション結果を踏まえ、具体的な内水対策を検討する。

施設整備前(現地盤・現況排水施設)



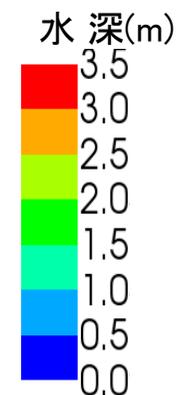
施設整備後(遊水地整備+内水対策実施)



・令和元年東日本台風 実績降雨(流域平均)

— : 令和元年東日本台風 洪水実績湛水範囲

※施設整備後の内水対策は、流入樋門等を設置した場合の計算結果(一例)であり、今後、冠水頻度や浸水時間などを総合的に判断して施設設計を行う予定である。

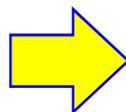


3-④. 内水検討について

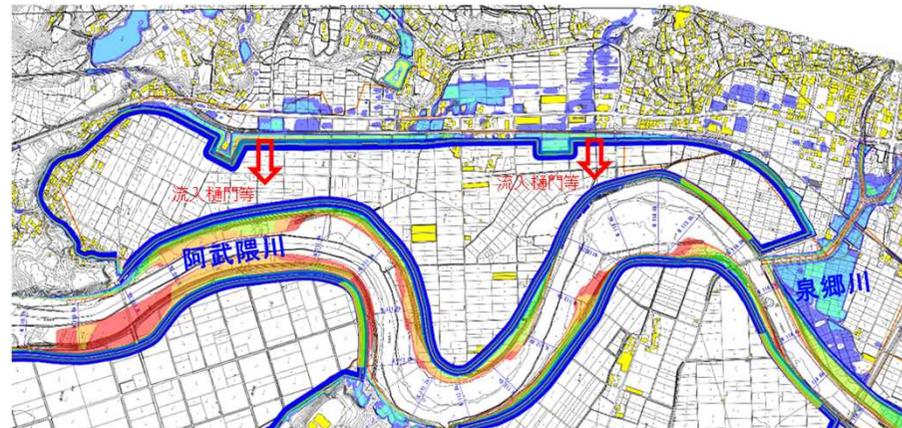
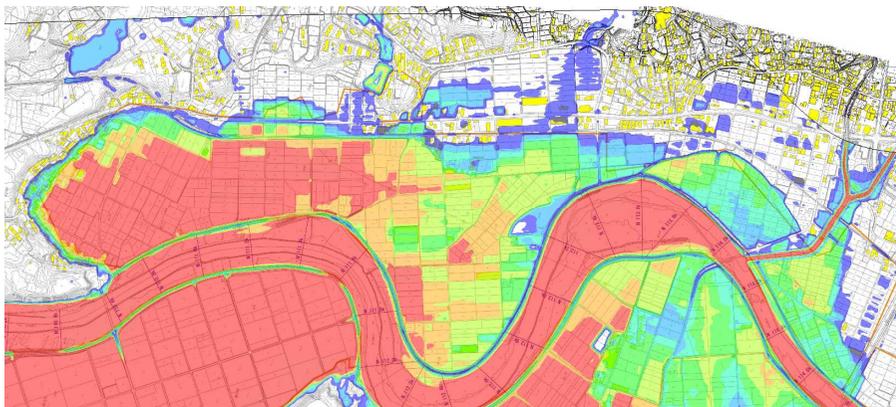
○令和元年東日本台風による降雨が発生した場合の浸水範囲(内水)について、施設整備前(現況)と第二遊水地(玉川村)を整備後で比較した内水計算結果は以下のとおり。

- ・シミュレーション結果を踏まえ、具体的な内水対策を検討する。

施設整備前(現地盤・現況排水施設)



施設整備後(遊水地整備+内水対策実施)



・令和元年東日本台風 実績降雨(流域平均)

— : 令和元年東日本台風 実績湛水範囲

※施設整備後の内水対策は、流入樋門等を設置した場合の計算結果(一例)であり、今後、冠水頻度や浸水時間などを総合的に判断して施設設計を行う予定である。

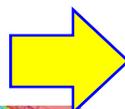


3-④. 内水検討について

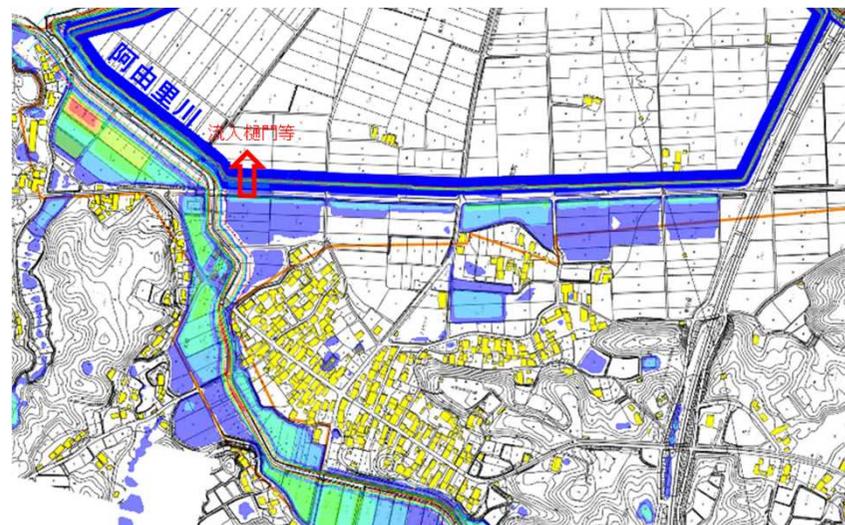
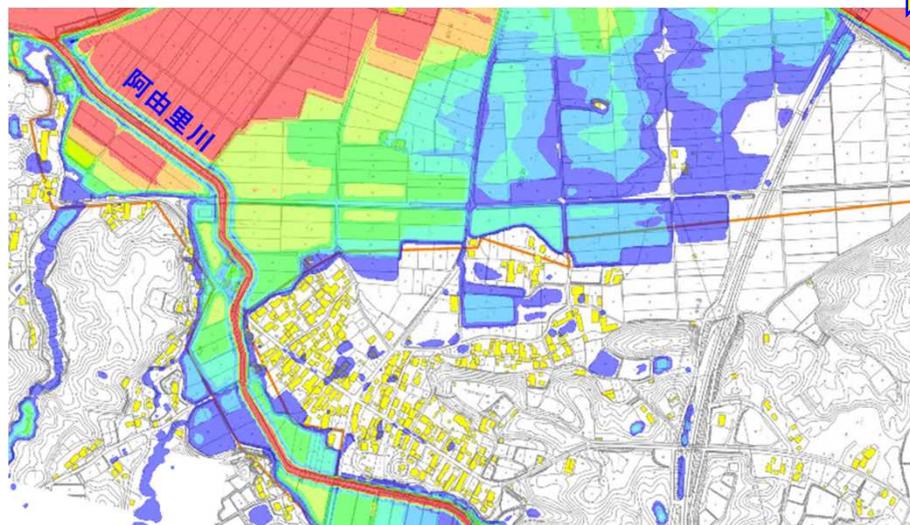
○令和元年東日本台風による降雨が発生した場合の浸水範囲(内水)について、施設整備前(現況)と第三遊水地(矢吹町)を整備後で比較した内水計算結果は以下のとおり。

- ・シミュレーション結果を踏まえ、具体的な内水対策を検討する。

施設整備前(現地盤・現況排水施設)



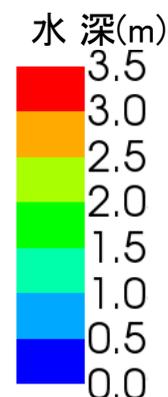
施設整備後(遊水地整備+内水対策実施)



・令和元年東日本台風 実績降雨(流域平均)

— : 令和元年東日本台風 実績湛水範囲

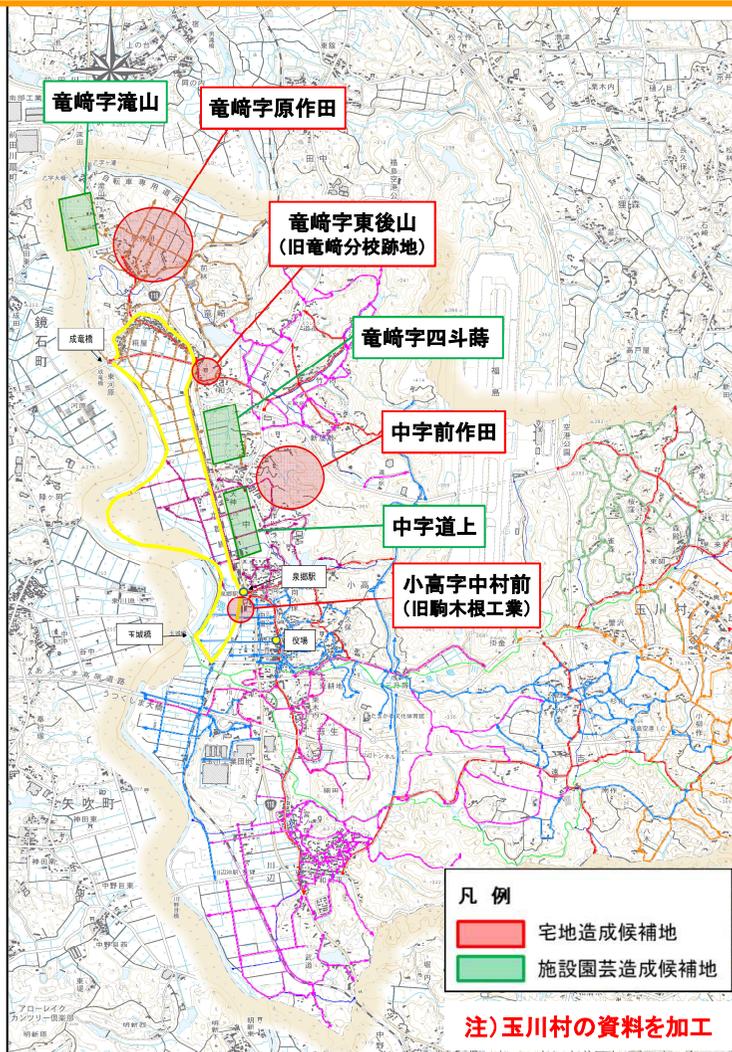
※施設整備後の内水対策は、流入樋門等を設置した場合の計算結果(一例)であり、今後、冠水頻度や浸水時間などを総合的に判断して施設設計を行う予定である。



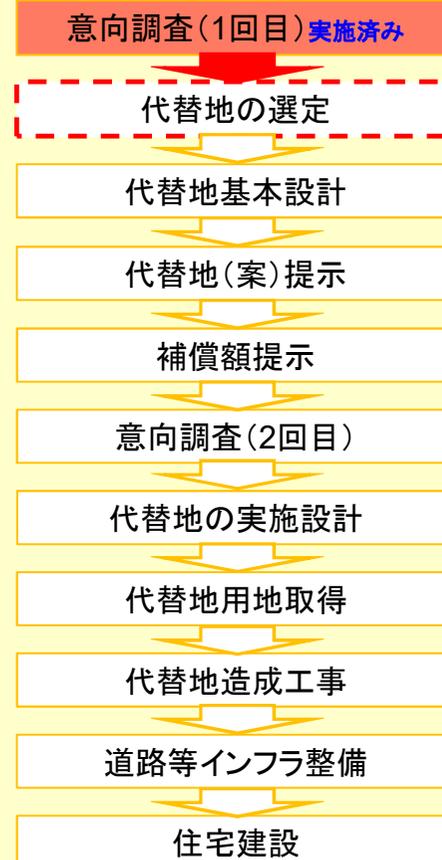
3-⑤. 代替地(宅地)の調整状況(玉川村)

- 自治体の協力のもと、国が主体となって代替地を造成
- 代替地(宅地)確定後に、代替地(施設園芸)の意向調査を行います。

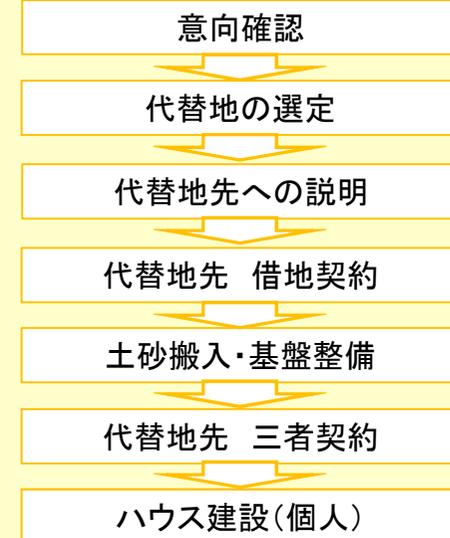
第二遊水地(玉川村)の代替地候補箇所



代替地(宅地)整備の流れ



代替地(施設園芸)整備の流れ



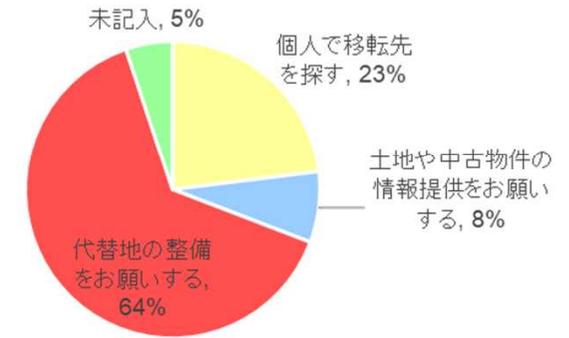
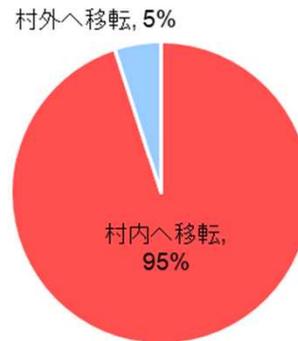
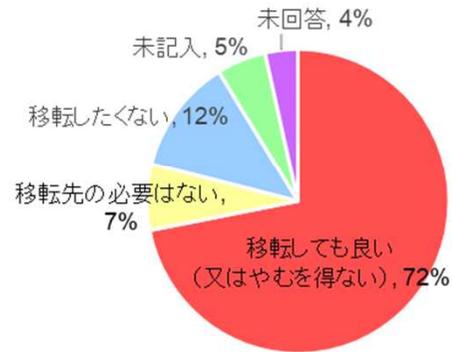
代替地の選定にあたっては、関係機関との協議も踏まえ決定します。

(玉川村)家屋移転に関する意向調査状況について

○意向調査の結果、代替地として①竜崎字原作田を希望する意見が多い状況。

玉川村家屋移転意向調査(第1回)集計結果

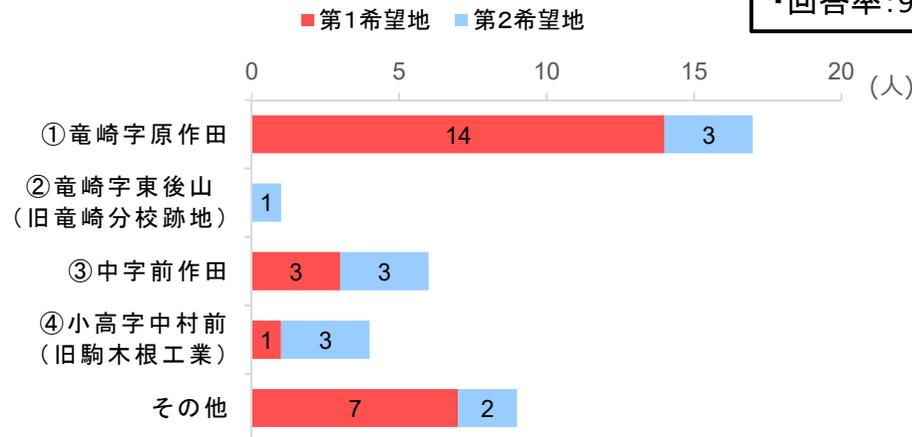
家屋移転をどのように考えているか 移転先をどのように考えているか 移転先の確保をどのように考えているか



・調査期間: R4.10.19~R4.11.10(23日間)
 ・調査対象人数: 57人
 ・回答数: 55人
 ・未回答: 2人
 ・回答率: 96.5%



集団移転先希望地集計

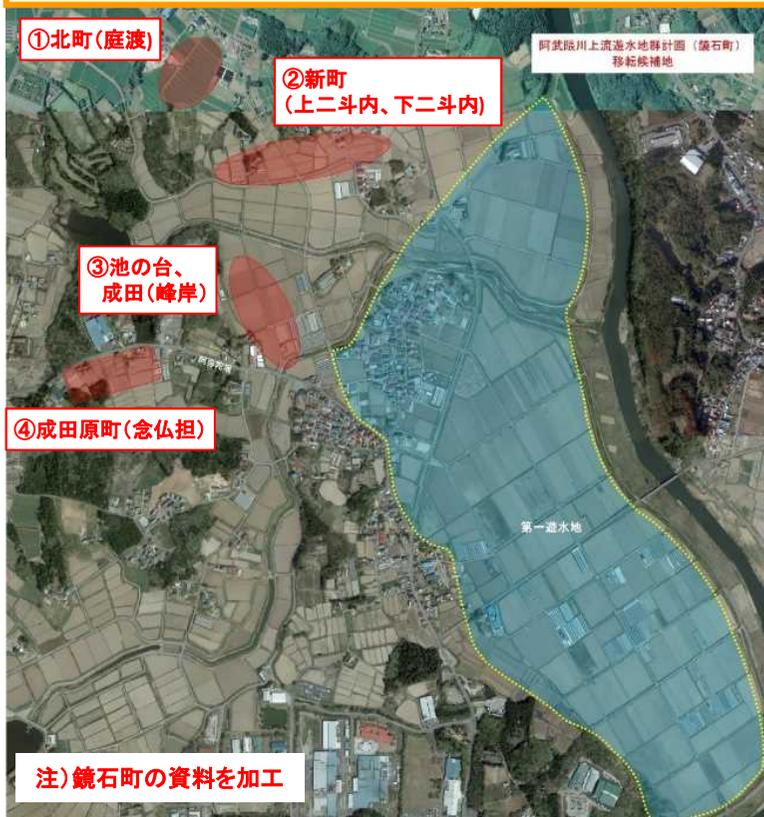


※その他: 移転候補地外の自己所有地等

3-⑤. 代替地(宅地)の調整状況(鏡石町)

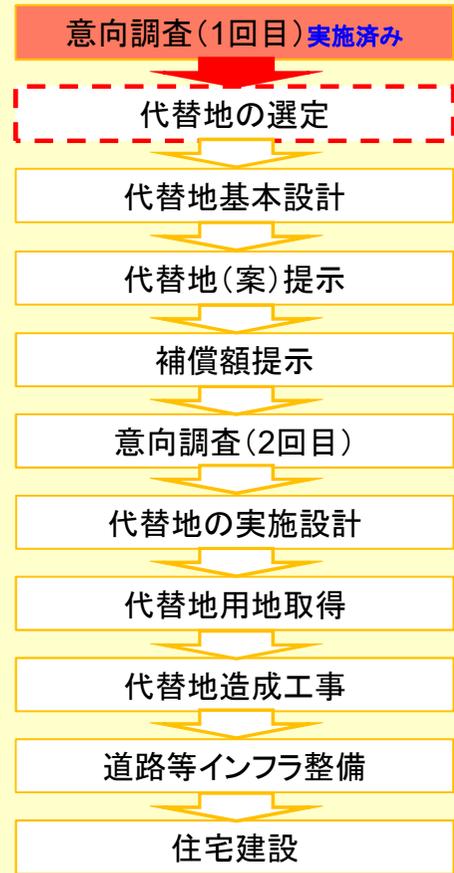
- 自治体の協力のもと、国が主体となって代替地を造成
- 代替地(宅地)確定後に、代替地(施設園芸)の意向調査を行います。

第一遊水地(鏡石町)の代替地候補箇所

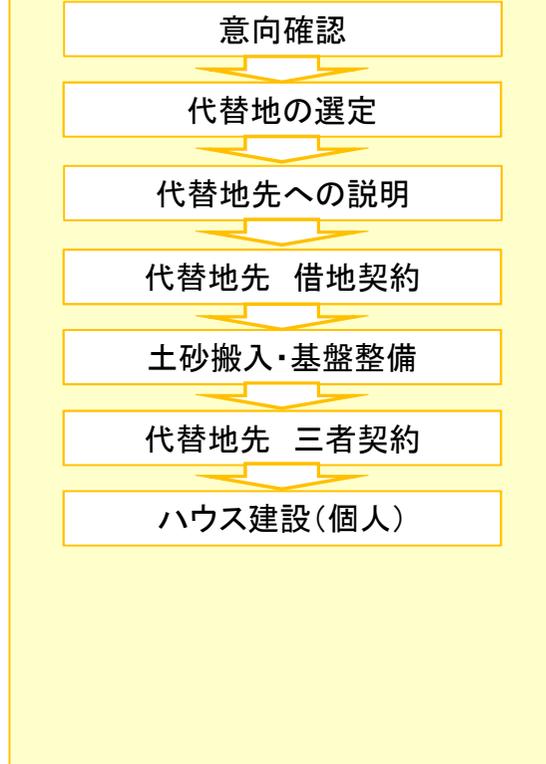


凡例
 宅地造成候補地

代替地(宅地)整備の流れ



代替地(施設園芸)整備の流れ



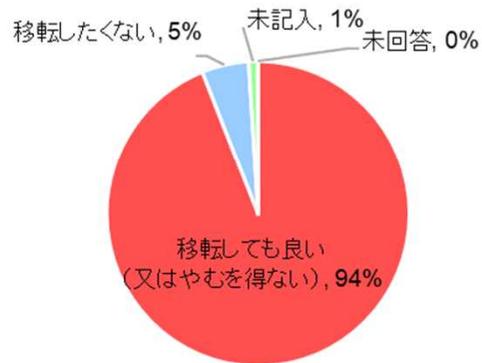
代替地の選定にあたっては、関係機関との協議も踏まえ決定します。

(鏡石町)家屋移転に関する意向調査状況について

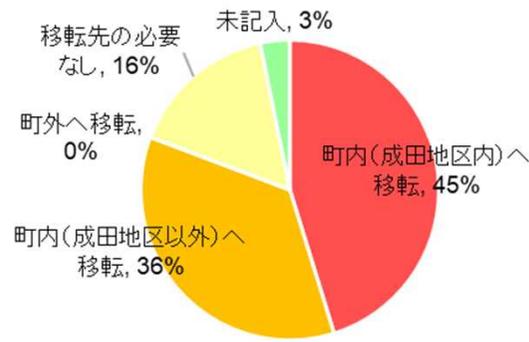
○意向調査の結果、代替地として②新町(上二斗内、下二斗内)と④成田原町(念仏担)を希望する意見が多い状況。

鏡石町家屋移転意向調査(第1回)集計結果

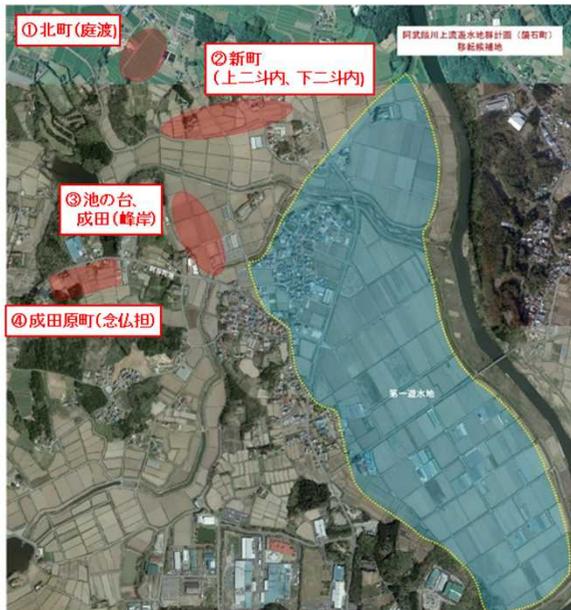
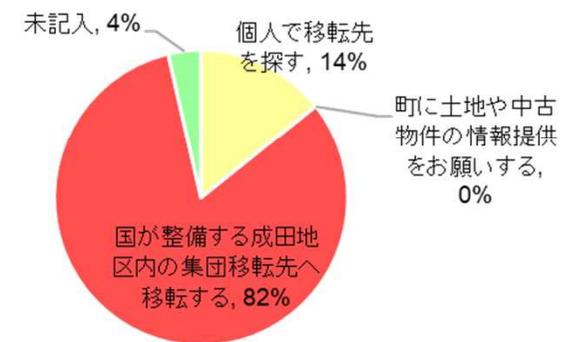
家屋移転をどのように考えているか



移転先をどのように考えているか

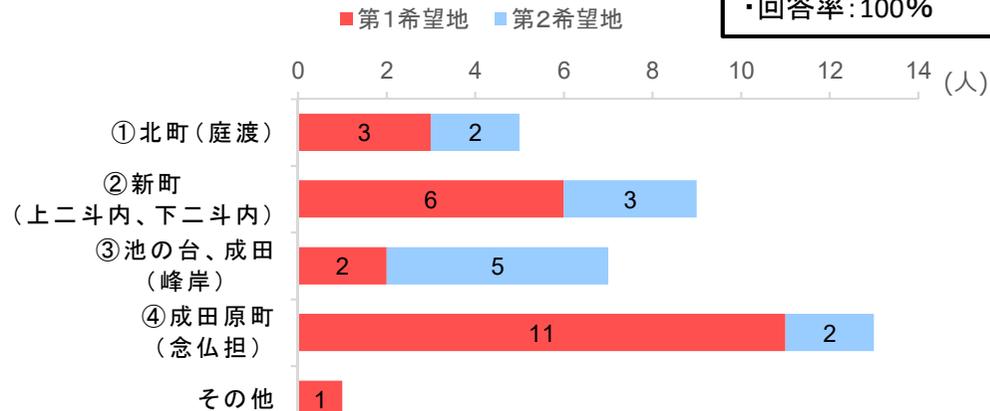


成田地区内への移転希望者の移転先確保についての考え



・調査期間: R4.9.28~R4.10.20(23日間)
 ・調査対象人数: 66人
 ・回答数: 66人
 ・未回答: 0人
 ・回答率: 100%

集団移転先希望地集計



※その他: ①~④以外の土地希望

3-⑥. 土地利活用に向けた検討状況

○地内利用の意向を把握し、議論する場（検討会）を設置

基本的考え方

- ・将来の目標像を共有しその実現に向けた取組について議論を行う場（検討会）を設置。
- ・地内利用検討を進めるためのロードマップ等について地域住民等とともに検討。
- ・利用条件、施設配置等の計画について整備後の管理も視野に入れて実現可能な検討を行う。

【検討会構成メンバー（予定）】

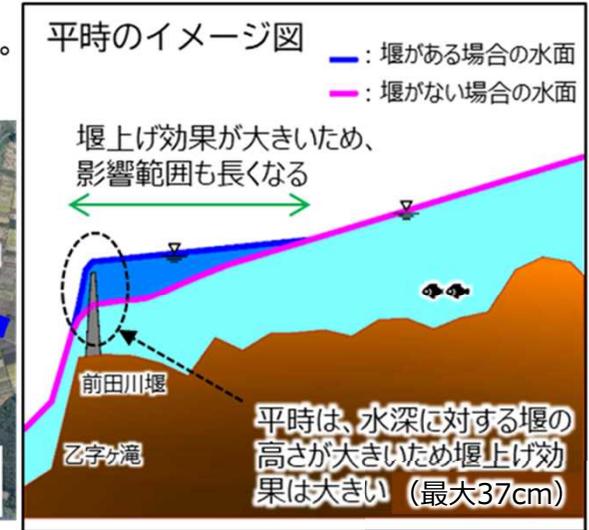
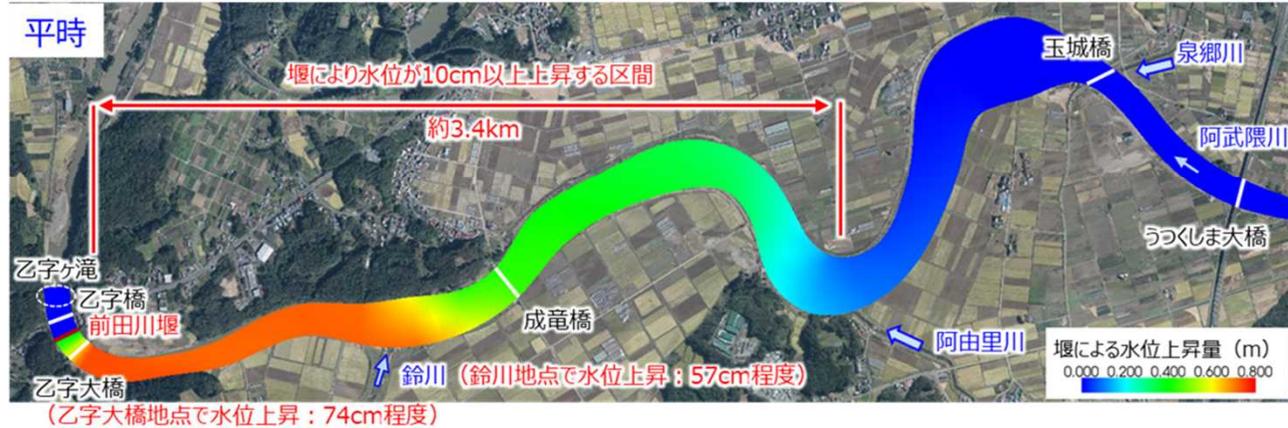
- ・有識者、地域住民、自治体（首長）、各種団体、県、国など。

3-⑦. 前田川堰の影響分析(令和元年東日本台風で検証)

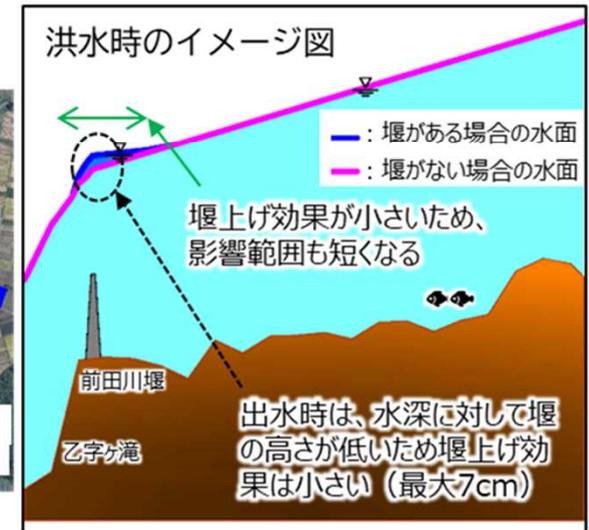
■前田川堰の影響

■前田川堰による水位堰上げの影響について平常時と令和元年東日本台風をもとに検証した。

- ・ 平時：堰上流の水位影響が大きく堰上効果で水位が10cm以上上昇する区間が約3.4km発生する。
- ・ 洪水時：堰地点の水深が大きく堰上効果が小さいため水位上昇区間で10cm以上は発生しない。



洪水時(令和元年東日本台風)



3-⑦. 前田川堰の影響分析(令和元年東日本台風で検証)

■前田川堰の影響

- ・『平時』には、河川の水深に対する堰の高さが大きいことから、前田川堰による堰上げは堰地点で**37cm**、堰上100m地点で**最大74cm**になる。
- ・『洪水時』には、河川全体の水深が大きいこともあり、前田川堰による堰上げは堰地点で**7cm**、堰上100m地点で**最大6cm**になります。
- ・堰上げの影響範囲も洪水時より**平時の方が長**くなります。

平時の堰による水位上昇量



洪水時(令和元年東日本台風)の堰による水位上昇量



■前田川堰の影響解析結果

- ・出水時においては河川全体の水深が大きいこともあり、前田川堰による堰上げの影響は**軽微**である。
- ・水位差においては**平常時の方が影響が大きい**結果となった。

遊水地に関する相談窓口の一元化

■ 遊水地に関するお問合せは、「阿武隈川上流緊急治水対策出張所」へご連絡下さい。

阿武隈川上流緊急治水対策出張所

【阿武隈川上流遊水地群整備のお問い合わせ先】



国土交通省

東北地方整備局 福島河川国道事務所
阿武隈川上流緊急治水対策出張所
☎ 0248-63-9966

(受付時間 | 平日8:30~17:15)

住所(〒962-0823福島県須賀川市花岡34-2-2F)



阿武隈川緊急治水
対策プロジェクトHP



福島河川国道事務所
公式twitter

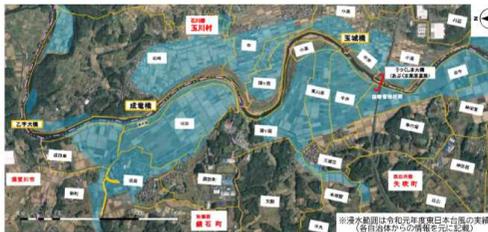
■ 遊水地に関する情報は、以下のwebサイトでご覧頂けます。

遊水地整備に関するwebサイト



洪水を一時的に貯留し、川の中を流れる水の量を
少なくする施設(遊水地)を検討します。

令和元年東日本台風風水害面積



検討地域の 特徴	遊水地とは?	阿武隈川 ニュース
説明会 実施状況	進捗状況	補償
阿武隈川 水災・雨量観測	阿武隈川 水災・雨量観測	ご意見

阿武隈川ニュース 第11号

阿武隈川緊急治水対策プロジェクト

令和4年6月

「阿武隈川上流遊水地群整備事業に係る図面確認会」開催報告

令和4年3月~4月、3町村(鏡石町、天次町、玉川村)の地域住民を対象に遊水地群整備事業に係る計画図面(案)をご覧いただく図面確認会を開催いたしました。図面確認会では堤防(固堤段、面越段(右ページ ※1 ※2参照))の平面図や横断面、遊水地の事業範囲について説明を行い、地域の皆さまからご意見・ご要望をいただきました。大変お忙しい中、説明会にご参加いただきました皆さまには、誠にありがとうございました。説明会の開催状況、説明内容・ご質問・ご意見につきまして、報告させていただきます。

阿武隈川沿川に住む皆さまの、安心・安全な暮らしの実現に向け、提案させていただきました治水対策へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

■玉川村実施状況

(開催日時・参加人数)	
① R4.3.28(月) 19:00~	64名
② R4.3.29(火) 19:00~	34名
③ R4.3.30(水) 19:00~	25名
合計	123名
(開催場所)	たまか文化体育館

■鏡石町実施状況

(開催日時・参加人数)	
① R4.4.5(火) 19:00~	30名
② R4.4.6(水) 19:00~	29名
③ R4.4.7(木) 19:00~	32名
④ R4.4.8(金) 19:00~	15名
合計	106名
(開催場所)	鏡石町成田構造改修センター

■天次町実施状況

(開催日時・参加人数)	
① R4.4.12(火) 19:00~	28名
② R4.4.13(水) 19:00~	23名
③ R4.4.14(木) 19:00~	17名
合計	68名
(開催場所)	三城目集落センター



遊水地概略設計(検討案)



<遊水地の地内掘削>

- 掘削の規模
2~3mの掘削を想定しています(地下水位の調査結果による)。
- 掘削土の活用
地内の掘削により発生する土砂は、遊水池掘削(赤色着色部分)の整備に活用いたします。
- 残土の運搬先
残った土砂等は、福島空港の用地を中心に運搬先を調整、検討中です。

堤防横断面図(遊水地整備前後比較)



<遊水地整備後イメージ図>

